

# つなぐ

Vol.55

2022.7月

全国でも循環器疾患の症例が多い当院では、患者さんに抗血栓薬を服用していただくケースが多い。冠動脈の再狭窄や脳梗塞の予防のために必要な薬ではあるが、がんなどの外科手術が必要になった場合にはリスクを伴う。

抗血栓薬を飲んでいる患者さんががん手術を行う場合、薬を止めずに手術を行うとひどい出血が手術中に起こる可能性がある反面、薬を止めて手術を行うと血栓リスクが高くなり脳梗塞・心筋梗塞が発生する危険性が増す。こうしたリスクのある患者さんでは長時間の手術は循環の面から考えると不利となるため、慎重かつ手術の良い手術が必要となる。

当院の外科でがん手術を受ける患者さんの約半分は抗血栓薬を服用しており、狭心症・脳梗塞後のがん手術や糖尿病、透析患者などリスクの高い基礎疾患を有するがん患者さんへ手術を行うことが多い。そのため、術者のみならずチーム全体の底上げにつながっている。

抗血栓療法は臨床研究が絶え間なく行われており、循環器内科と他診療科との情報共有は重要になっている。診療科がつながり、病気ではなく患者さんを診る体制を今後も深めていく。





第64回

# 小倉循環器内科セミナー

2022年 7月25日(月) 18:00~18:30



## 弁膜症に対するカテーテル治療の最前線



座 長

小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講 師

小倉記念病院 循環器内科  
部長 白井 伸一

### 参加方法



ZOOMによる  
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、  
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



### PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民  
公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会  
→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



### スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで  
いただくと参加が可能になります。

